
50歳からの転職

失敗する 7つの思考

望むものを手に入れる戦略



はじめに

令和に入り、世の中の動きも一気に変化してきました。

今までリアルな場で行われてきた事が、オンラインで提供されるようになった事も、その一つです。実際に、このコンテンツを手にしたあなたも、私とオンラインで繋がり、興味をお持ち頂いたわけです。

そして、今まで会社に属していれば、年功序列で収入も、精神面も、安泰に過ごせたわけですが、今はそんな状況ではありません。副業を推奨する企業も一気に増えたり、役職定年制度を採用する企業も増加の一途。

つまり、今の企業はあなたの人生保証を放棄しているに等しい状況となりました。今、必要な事は、自身の手で人生をコントロールしていかないといけない、という事です。

その第一歩として、このコンテンツを手にしたあなたは、他の方よりも一歩も二歩も先に進んだという状況です。

是非、次のページから始まる内容を、理解しながら読み進めてくださいね。

では、早速コンテンツの世界へ入っていきましょう。

目次

思考1：転職すれば今より良くなると思い込んでいる

思考2：自己分析が甘すぎ、または過小評価におちいる

思考3：希望年収など転職の条件を明確にしていない

思考4：つつい誇大アピールしてしまう

思考5：転職エージェントには頼らない

思考6：次の転職先を定めずに辞め焦って転職してしまう

思考7：定年後、ゆっくり探せばいい

思考1：転職すれば今より良くなると思い込んでいる

「なぜ転職をしたいのか」が明確でない人は転職失敗しやすいです。

転職すれば活躍できると安易に思いこんでいる人や現職から逃げたいという気持ちだけで転職しようとする人は、後悔する人が多いようです。

なぜなら、場所だけ変えても自分の能力は変わらないし、どの職場にいても嫌な人はいるでしょう。

理想の転職がしたいという前向きな志望動機を作るようにしましょう。

自分が今後どのような生き方をしていきたいのか、どういう仕事をしたいのか、転職先でどんな貢献をしたいのかなど自己分析し、転職動機を明確にするようにしましょう。

思考2：自己分析が甘すぎ、または過小評価におちいる

自分の人材価値を理解せずに転職活動をしてしまい、後悔する人も多いようです。

自分を過大評価して「今の会社で自分は本来の実力より低く評価されている」と思い込んでいたり、反対に謙虚になりすぎて不当な条件も受け入れてしまったりということもあります。

こういった失敗を防ぐためには、客観的な意見を取り入れることが大切です。

思考3：希望年収など転職の条件を明確にしていない

希望年収や働き方などの条件を明確化していないと転職失敗しやすくなります。

採用する側もその条件で働いてもらうかどうか判断しなければならないので、明確でないと採用しにくい状態となります。

具体的に年収は●●●万円、働き方は「これこれ」と希望を伝えるようにしましょう。

またその根拠も述べられるように準備しておきましょう。

一人のビジネスマンとして客観的でフェアな条件提示しなければ評価は下がりますので気をつけましょう。

思考4：ついつい誇大アピールしてしまう

応募や面接で自分自身の能力や特色をアピールすることは大事ですが、度を過ぎるとかえって逆効果になります。

多くの人を見てきた採用担当者ならアピールが妥当かどうか見抜くでしょうし、再就職出来たとしても期待された能力は発揮できず、かえって本人は苦痛を感じるようになるでしょう。

極端に「自分は優秀です」とアピールするのは避け、得意なこと・苦手なことを等身大で表現しましょう。

思考5：転職エージェントには頼らない

転職エージェントに相談せずに転職先を決めてしまう場合、うまく行けばいいのですが、何か自分の意に反したことがあると、後悔することになります。

転職の成功は、どれだけ有意な情報を集められるかにかかっているといっても過言ではありません。

エージェントに相談すれば自分自身の適性や希望を整理するきっかけを得ることもでき、企業の内部情報も率直に教えてくれます。

自力で情報収集するのは結構難しいので、必ず転職エージェントで情報収集してから転職先選びを進めましょう。

思考6：次の転職先を定めずに辞め焦って転職してしまう

次に就職する企業の内定が出てから退職をするというのが鉄則ですが、事情があって内定をもらう前に辞めざるを得ないという切羽詰まった状態で転職活動する人もいます。

求人に応募しても、書類や面接で落とされる回数が重なると、内定が出た転職先の内情をよく把握しないまま転職してしまうことがあります。

中高年になると、やはり求人は限られ、ある程度の妥協は考えておかねばなりませんが、焦って転職してしまうと、自分に合わない職場・職種で働くことになり、最悪は転職を繰り返すことになってしまいます。

そうならないためにも、事前に求人情報を眺める時間を持てるよう、早めの準備をしておきましょう。

思考7：定年後、ゆっくり探せばいい

定年後、退職金や失業保険があるから、ゆっくり仕事を探せばいいと思っている人がいるかもしれません。

しかし、半年、一年と仕事をしていないブランクが長くなればなるほど、仕事探しは不利になります。

最近の求人は「即戦力」が問われますので、ブランクが長いと敬遠されてしまいがちです。

理想は、定年になる前に数社程度の当たりをつけておくことと安心です。